未承認薬等の名称	イオパミドール 300 注
対象患者	嚥下造影検査を受ける方のうち、誤嚥のリスクが高い、または誤嚥した場合に肺への影響が大きいと医師が判断した方
承認日	2026 年 10 月 13 日
実施期間	永続的に使用
目的・概要	嚥下造影検査は、飲み込みの様子を X 線で観察し、安全に食べられる食事の形や姿勢を決めるための検査です。この検査では、どの条件で誤嚥が起こるのかを見極める必要があるため、検査中に極少量の誤嚥が起こることがあります。通常この検査には「硫酸バリウム」という造影剤を使用しますが、水に溶けず体に吸収されないため、誤嚥して肺に入ると長く肺の中に残り、肺炎や肺の慢性的な炎症を起こすことがあると報告されています。一方、イオパミドールなどの「非イオン性・低浸透圧性」の造影剤は水に溶け、万一誤嚥しても体に窮されて排泄されるため、肺への影響が少ないことが国内外の研究で示されています。 ただし、この造影剤は口から飲む使い方について国の承認を受けていないため、「適応外使用」となります。当院では、誤嚥のリスクが高い方に限って、より安全性が高いと考えられるこの造影剤の使用を許可しています。
予想される不利益と対策	・主な副作用として、かゆみ、発疹、頭痛、ほてり、吐き気などが起こることがあります（国内の調査で 0.3%） ・まれに、ショックやアナフィラキシー（強いアレルギー反応）が起こる可能性があります ・ヨードや造影剤で過敏症を起こしたことがある方、重い甲状腺の病気がある方には使用しません ・検査は、吸引器・酸素・救急用の薬剤を備えた検査室で、嚥下造影検査になれた医師の立ち会いのもとに行います。万一の際には直ちに検査を中止し、必要な処置を行います。
問い合わせ先	熊本赤十字病院　　各診療科 電話　096-384-2111（代表）